

みんなの力でみんなの幸せを
sawarabi
さわらび

2 医学講話 認知症

◆さわらび会 理事長 山本 孝之

8 特集 第9回福祉村サミット

2009
vol.438

10





医学講話
MEDICAL TALKS

認知症

さわらび会 理事長

山本 孝之

認知症は、年をとるとともに多くなる病気ですから、長生きする人が増え続けている我が国では、今後ますます多くなってきます。

現在、最も多いのは、アルツハイマー病でして、認知症の約半分を占め、次に多い血管性認知症が約20%です。

アルツハイマー病と血管性認知症
アルツハイマー病は、ご本人は、もちろん、まわりの人も気づかないうちに発病し、その後も、どんどん進行し続けます。

数分前のことも忘れ、そして、物や人の名前が思い出せなくなるのが、この病気の初期症状です。

血管性認知症は、脳卒中、悲しい

出来事、そして、環境の変化などで発病してきますから、いつ発病したか、はつきりとわかりません。

初期症状は、ヨチヨチ歩きで転びやすくなり、些細なことで怒ったり泣いたり、また、ぼーとしてることが多くなります。

発病後の経過は、全く千差万別でして、頭の血のめぐりの良し悪しや、次の脳血管障害がどこに発生するかによって、経過は全く違ってきますし、すっかり良くなることもあります。

認知症の薬

現在、認知症を治す薬はありませんが、唯一つ「アリセプト」と言う薬は、アルツハイマー病の進行を抑えることが確認されていますから、アルツハイマーの人は、病状に応じた量を、ぜひ服用して下さい。

リハビリ

誰の手も借りずに生きるのが、幸せの第一条件ですから、先づ、患者さんの排泄を自立させるようにします。

①尿意のある人には
身近にポータブルトイレを置いたり、便所の場所をわかりやすく表示し、トイレにいたらすぐ排泄できるようにような服装をしていただきます。

②尿意のない人には
先づ、その人の排泄時間を調べ、排泄の時間になったら、自尊心を傷つけないような声かけをして、便所へ誘導し、排泄動作のお手伝いをしあげます。

介護法

認知症介護の原則は、いつも楽しく幸せに、そして、安心して暮らせるようにすることです。

1、いつも幸せに

①決してしからず制止せず
冬の真夜中に、寝巻のまま外出されようとすのを見つけても、駄目

と言って止めるのではなく、暖かいお茶をさしあげて、外へ出ようとするのを忘れていただきます。

②今できることで、まわりの人に役立つ働きを
食後に食器を洗い場へ運んでいただいたり、洗濯物を一緒にたたんでいただきながら、「ありがとうね、とっても助かったわ。」と感謝の言葉を繰り返し申し上げて下さい。

こんな自分でも、みんなに役立つことができるんだと感じていただくことが、必要なことです。

2、いつも楽しく、心身の活動をする
年をとると、何が楽しいかは、人によって全く違ってきますから、患者さんが何を楽しいかを探し出し、それを、1回に20分間位、1日に何回か楽しんでいただきます。

自慢話や楽しい思い出を、お話しただいたり、散歩、風船バレー、園芸、書道、裁縫、そして、音楽など、なんでも結構です。

音楽では、アルツハイマー病では、

行進曲やロックのようなりズミカルな曲を、血管性認知症では、美しいメロディーの曲が、喜ばれます。

何をしていただけでも、決してけなさず、いつも誉めるのが、コツです。

3、安心できる生活を

ひとりだけで、ほっとかれるのが、認知症を増悪させる最大の要因です。

ご本人に信頼されている人が、いつも傍にいて支えてあげ、不安も心配もなく、安心して暮せるようにしてあげましょう。

4、環境を変えない

住み慣れたご自宅で、ご家族と一緒に暮らされるのが一番です。

ご自宅の新築、改造、引越し、福祉施設への入所や入院など、すべてが認知症を増悪させる要因となりますし、お孫さんが大学へ入学されたり、ご就職で、家を出られても、しばしば、認知症は悪くなります。

どうしても、入院が必要になった時には、ご本人が病室に慣れるまで毎日、ご家族はお見舞に行かれるよ

うに。

5、食事

①腹八分目

食べてもすぐに忘れて、まだ食べてないと言われたら、生野菜やナシやリンゴのような、カロリーの少ないものをさしあげて下さい。

②お奨め食品

魚、貝、海藻、大豆とその製品、脱脂粉乳、緑黄色野菜、果物、きのこ、ゴマ、シソ油など。

③味つけうすく

④水分はたっぷり

緑茶は1日6杯以上を

認知症の悪化予防

1、血圧の調整

朝起きておしっこしてからと夜寝る前の一日二回、座位で上腕の血圧を測り、上の血圧が150以上でしたら、降圧薬を飲むように。

血圧を測らずに降圧薬を飲み続けますと、しばしば、血圧が下がり過ぎて、とても、危険です。

2、血糖の調整

血糖は、高くても低くても、認知症は悪くなります。

糖尿病の人は、時々、検査を受けて、血糖の調整目標に近づくように、主治医のご指示をよく守って下さい。

血糖の調整目標

食後2時間の血糖値140mg/dl以下
ヘモグロビンA1c6%以下

3、徘徊と日向ぼっこは長い時間させない

4、禁煙

ご家族へ

1、認知症を正しく理解されることが最も大切

2、絶対にひとりではお世話しない

いつ何時、何が起るのか、全くわからない認知症のお世話は、ひとりですべてしていますと、お世話される方の早死か、患者さんの虐待につながりかねません。

ぜひ、ご家族の皆さんが協力され、隣近所の人々にも、ご協力をお願いします。

現在、厚労省が認知症のサポ

ーターを百万人養成する運動を実施中でして、豊橋でも、すでに2,300人が、認知症サポーターとして活躍されています。

サポーターの皆様にも、ぜひ、声をかけて協力していただくように。

3、福祉サービスの積極的な活用を

先づ、お近くの地域包括支援センターで、よく相談をされ、福祉サービスを利用するための要介護認定を申請され、ヘルパー派遣、デイサービス、ショートステイなどの福祉サービスを、積極的に活用しましょう。

4、無断外出行方不明発見ネットワークの利用

知らないうちに外出されて行方不明になったら、すぐ警察へ届け出て下さい。

どの町にも、警察を中心として、各交通機関、コンビニ、スーパー、医療、福祉の機関などのネットワークができていますから、早く発見でき、適切な処置ができるようになります。

長寿医学研究所 副所長

赤津 裕康

【海洋深層水2…製品化と学会報告】

昨年12月に途中報告させていたいただきました、海洋深層水を褥瘡治療・スキンケアに応用した治験報告の第2段です。2年間の地域イノベーション事業で富山大学、および五洲薬品



●海洋深層水の展示の様子

と行っていた共同研究は一定の成果を得る事ができました。

去る9月4～5日に大阪で開催された第11回日本褥瘡学会学術集会にその結果を報告してきました。一昨年褥瘡洗浄で、昨年スキンケアで、従来の生理食塩水、水道水の代わりに富山湾水深300m以深から採取し等張再合成された等張深層海洋水（五洲薬品）を患者様に用いた結果を今回発表いたしました。

また富山大医学部の常山幸一先生は線維芽細胞を用いた培養系での研究成果を報告されました。地域イノベーションという点からは五洲薬品がヒトへの使用ということで知的財産権取得の申請を終え清拭用としても製品化もなされました。今回の学会では五洲薬品も大手企業とブースを並べて出展し大盛況でした。今後は試供品が全国の褥瘡治療を手がける病院に供給され、深層海洋水での洗浄も市民権を得ていくことになると思います。

今回の発表では「なんとなく効果があった」ではなく、日本褥瘡学会



●培養で成果を発表される富山大医学部 常山幸一先生

られています。最近の研究で線維芽細胞を活性化したり、免疫細胞への抗炎症効果作用があることが解ってきています。まだGABAを褥瘡に使っての直接的な効果は観ていないので深層海洋水の何が効いているのを直接的に証明したわけではありませんが、GABAを初めとした有機物が有効である可能性がほぼ間違いないなさそうです。

今回のプロジェクトは昨年度で終了いたしました。これをきっかけに日本中で深層海洋水を用いての褥瘡治療効果の報告が出てくるのではないのでしょうか。言うまでもありませんが、また今回の成果も患者様、ご家族とスタッフの皆様の御協力の賜物です。今回は褥瘡での治療成績を具体的に報告いたします。





2009年9月10日講義

「口腔ケア」知っておきたい口腔ケアの基礎知識」

◎講師・医療法人 大成会

広小路歯科 理事長

大賀 将志先生

8020運動、皆さんも耳にしたことがあると思いますが、八十歳になっても二十本の自分の歯を残す運動です。

歯を失う原因として代表的なものは、歯周病と虫歯です。歯周病は、口の中の手入れを怠ると、口腔内細菌が繁殖して歯石が溜まり、自覚症状がないまま歯周病になってしまいます。



●図解も交えながらの講義をしていただきました

虫歯は、虫歯菌によって歯が溶かされていくことです。食後すぐの口の中は、酸性になり虫歯になりやすい状態です。その後、唾液の働きにより中性に向かいます。しかし、虫歯菌が好む糖分の多いおやつなどを食べると、中性に向かう途中ですぐに口の中は酸性になり、虫歯になりやすい状態になってしまいます。

また、口の中の状態と全身の状態は、大きく関係しています。最近の発表では、歯周病が糖尿病に影響すると考えられております。

その他、誤嚥性肺炎（誤って食べ

物や唾液が肺に入る）との関係があります。日本人の死亡原因の第四位は、実は肺炎であり、肺炎で亡くなる方の94%は六十五歳以上です。口の中を清潔に保つことは、誤嚥性肺炎の予防に効果的です。健康な生活を送るために大切なことは、美味しく食事を食べることで、そのために大切なのは、日常生活での口腔ケアです。

口腔ケアには

●口腔内の細菌数をコントロールする。

●ブラッシング

●入れ歯の洗浄

●歯石の除去

●舌苔（ぜったい）【舌にある白っぽい苔】を除去する。

●などがあります。

また、先生は正しい歯磨きの方法を教えてくださいました。

●歯ブラシの毛先は、歯に直角にあてる。

●細かな往復運動で磨き、決して強く磨かない。



●歯の裏側も忘れずに。
●時々舌の表面を歯ブラシで洗う。などです。

身体が不自由であったり、認知症などのため、ご自身で「口腔ケア」を行うことができない方々がいらっしやいます。われわれ介護に携わる者は、「口腔ケア」が、健康な身体を維持するための大切なケアである事をいま一度しっかりと認識する必要があります。

健康で幸せな生活を送っていたために、「口腔ケア」も大切なケアである、と深く感じるようになってきた大変有意義な講義内容でした。

（渡邊）



●正しい口腔ケアで皆様の健康を守ります

利用者の皆様と一緒になろう時間

福祉村で働く職員の子どもたちが、夏休みの学童保育の期間中に、お年寄り、障害者の方々と一緒に活動する機会を持ちました。

若菜荘では、お年寄りとの英会話教室。太極拳も初めての体験です。講師の先生やお年寄りに倣って体も動かしました。貼り絵作り、書道、そろばんなどお年寄りと一緒に学ぶこともたくさんありました。



●お年寄りと一緒に太極拳

またしろがねでは、陶芸、油絵、水彩画、手織物など障害者の人たちに交じって経験しました。油絵も手



●小さな体で大きな織機を扱います



織物も初めての経験です。手織物ではコースターや花瓶敷き、陶芸ではカップやお皿、オカリナなど思い思いの作品を作りました。
(石黒)



●講師の先生と陶芸の最後の仕上げ

いきいきフェスタ2009に参加

◆障害者支援施設 あかね荘

豊橋市の「市民福祉の日」記念行事として毎年行われている「いきいきフェスタ」。その「いきいきオンステージ」の舞台上、今年もあかね荘語りべの会のメンバーが発表してきました。

活動を始めて13年目の今年は、豊橋飯村の民話「金次のしいの木」の朗読に挑戦しました。それぞれ自分の台詞を一生懸命練習し、本番に臨みました。初めてのステージで緊張してなかなか声のでない方、また練習の何倍もの力を発揮される方など様々ですが、皆さん心を込めて発表することができ、会場からも温かい拍手をいただきました。
(村越)



●ボランティアの「まじっくはんど」の皆さんが練習からサポートして下さいました。

豊橋中央高校軽音楽部演奏会

◆障害者支援施設 珠藻荘

8月25日に自治会主催の行事で、豊橋中央高等学校軽音楽部の生徒さんをお願いして、珠藻荘にて演奏会を開催しました。

今回は珠藻荘だけではなく、福祉村全施設利用者を招待し、音楽を聴いて少しでも楽しいひとときを過ごしていただきたいと考えました。

当日は、会場がいっぱいになるほどたくさんの方々が聴きに来てくれました。軽音楽部の生徒さんにもリクエストしておいた曲を色々アレンジしたりして、演奏会を楽しませて頂きました。

中央高校軽音楽部の生徒さん、心からありがとうございました。また機会があれば、このような行事を企画したいと思います。
(珠藻荘自治会)

副会長 荒川安章



第28回

さわらび文化祭

—みんなで作ろう助けあう町を—

日時●2009年10月24日[土]

午前10:00～

場所●福祉村



主な企画

- 福祉作文コンクール表彰式
- 野外ステージ(福祉村公園)
- F-1ドライバー山本左近選手グッズの販売
- 福祉村マーケット
- インド物産展
- スタンプラリー
- 介護教室、在宅支援相談コーナー
- 秋陽展・もったいないコンテスト
- 各種模擬店 ほか

※企画は変更になる場合もあります。

文化祭のお問い合わせ

明日香 TEL●0532-46-6579

—助けあう町— パネル展示

安心して住める町を目指す中で、地域の皆様との助け合いはなくてはならないものです。

私たちの取り組みを通して「助ける、助けられる」をもう一度考えてみたいと思います。

昨年の
発表会の様子



福祉村保育園だより

9月2日に、ジュゲムの敬老会に参加させて頂きました。歌とタンバリンを披露し、「ハムハム音頭だハムちゃんず！」をお年寄りの方と一緒に踊り、楽しいひと時を過ごしました。お年寄りの中にはかわいい子ども達の姿をみて、涙を流して喜んでおられる方もいました。最後に、「いつまでも元気で長生きしてね」という気持ちを込めて子ども達から手作りのうちわをプレゼントしました。(河合)



症例カンファレンスへの取り組み

◆福祉村病院 看護部

看護部では昨年より2ヶ月に1度、日々の看護を振り返り自己の成長につなげることや、他フロアの症例を共有し今後の看護へと活用できることを目的として症例カンファレンスを実施しています。今年から症例内容を①身体拘束廃止への取り組み、②認知症の周辺症状への対応、③事故防止への取り組み、の三つのテーマに絞り、その中から各フロアが選択し発表を行っています。今年は、昨年に比べ、それぞれが意欲を持って主体的に取り組んでいる内容であり、日々の成長を感じさせられる発表になっています。今後は院内だけでなく院外への発表につなげられるよう努力を重ねて取り組んでいきたいと思ひます。

(山本)



第9回 ◆さわらび会主催で開催 福祉村サミット



利用者の皆さまの幸せを目指し、各施設・病院がお互いに助け合って暮らしていける。そして、この地域で暮らすすべての人々の幸せを守る医療と福祉の総合保障基地。そんな福祉村だからこそできることを、福祉村サミットでは話し合ってゆきます。



●山本理事長による開会のあいさつ

私たちさわらび会が運営する福祉村には現在、病院を中心としてその周囲にさまざまな障害者施設、高齢者施設などがあり、「みんなの力でみんなの幸せを」守るために互いに手を取り合って利用者の皆様を支えています。そして、福祉と医療の連携をとることで皆様が安心して暮らせることを目指しています。

福祉村サミットの歴史

「福祉村サミット」は、さわらび会のように複数種別の施設と病院を運営する大規模民間社会福祉法人・医療法人に共通する運営課題や、法人の今後の在り方について意見を交わし、地域の方々の幸せを如何に実現していくかを検討することを目的とした大規模民間社会福祉法人関係者会議です。社会福祉法人さわらび会の二十五周年を記念して企画・提案され、全国の複数種別の施設を運営している社会福祉法人等と呼び掛けて実現しました。

平成十三年十一月、記念すべき第一回の「福祉村サミット」が豊橋市で開催されました。全国から四法人・十二名の方が参加され、さまざまな意見交換が行われ、また、厚生労働省社会援護局の担当者を招いての講演が行われました。このサミットは大変有意義な内容となり、今後も継続してゆくこととなりました。

以降、毎年一回担当法人を変えて、規模を大きくしながら全国各地で開催してきました。昨年十二月に岡山市で開催された「第8回福祉村サミット」には、十二法人・四十一名の方が参加されました。

第9回福祉村サミットの紹介

第9回となる今年は、十一月十九

「福祉村サミット」主催法人と参加数

第1回(平成13年)	さわらび会	4法人・12名
第2回(平成14年)	天竜厚生会(静岡県)	9法人・25名
第3回(平成15年)	長岡福祉協会(新潟県)	9法人・23名
第4回(平成16年)	黒松内つくし園(北海道)	11法人・34名
第5回(平成17年)	芳香会(茨城県)	24法人・25名
第6回(平成18年)	聖隷福祉事業団(静岡県)	12法人・44名
第7回(平成19年)	こうほうえん(鳥取県)	8法人・28名
第8回(平成20年)	旭川荘(岡山県)	12法人・41名

日(二十日、第1回に引続きさわらび会主催により、ホテルアソシア豊橋を会場として開催いたします。

まず、一日目は山本理事長の開会の挨拶に始まり、厚生労働省老健局総務課の千田透ちだ課長補佐による「変化する地域社会とセーフティネット(社会福祉法人への期待と役割)」についての講演、続いて国立長寿医

療センターの遠藤英俊包括診療部長の「新しい認知症の医療とケア」と題した講演を予定しています。遠藤先生は日本認知症学会、日本ケアマネジメント学会、日本高齢者虐待防止学会などの理事を務められ、またかつて山本病院・福祉村病院に勤務されていまして、ご存知の方もいらっしゃると思います。

二日目に入りますと、まず参加法人の代表者会議を開催いたします。続いて「福祉村だからこそできる福祉サービス」をテーマに、さわらび会を始め、四法人程度の皆さんによる実践報告が行われます。日頃の経験と研究に基づいた示唆に富んだ貴重なお話を聞きできると思いますのでご期待下さい。また、報告終了後は参加者全員による質疑応答を含んだ意見交換会を行います。これをもって一旦サミットを閉会いたしますが、希望される方には美しい紅葉に包まれた福祉村の各施設をご案内することとしております。



●前回第8回サミットでの意見交換会

**福祉村サミットの意義
ー福祉村だからこそできる
福祉サービスとはー**

「福祉村」とはどのような理念に基づいたどのような福祉機能を持つ場所でしょうか。さわらび会紹介パンフレットの山本理事長の挨拶から引用させていただきます。

「人間は、それぞれが与えられた能力を伸ばしながら、自立して自由に生き、しかも、まわりの人の役に立つ働きをする時に、最高の幸せを感じるものです。

そこで、リハビリ病院と授産所を中心として、高齢者、身体障害者、

知的障害者などの施設を同じ敷地の中に作り、自立を目指してリハビリや訓練を受けるとともに、お互いに助け合って暮らせるようにいたしました。

更に、施設の中の人々の幸せと健康を増進させるだけでなく、この地域で暮らすすべての人々の幸せを守る福祉の総合保障基地としての役割を果たすことも、目標としております。」

そこでこれを想定事例の一つで紹介いたします。

「在宅で生活していた障害のある方が両親の疾病あるいは高齢化などにより、在宅生活が難しくなった。

そこでさわらび会の障害者生活支援センターで相談した結果、ケアホームを利用し、日中は「明日香」(障害福祉サービス事業所)や「しろがね」(福祉村障害者デイサービスセンター)に通所していた。

その後障害の程度が重度化し「珠

藻荘」「あかね荘」(障害者支援施設)に入所するに至った。また、その利用者の方が高齢になると、地域包括支援センターの助言により、「若菜荘」(軽費老人ホーム)や「カサデローザ」(ケアハウス)を経て、「第二さわらび荘」(特別養護老人ホーム)や「ジューゲム」(老人保健施設)をそして「福祉村病院」(療養型医療・介護病棟)を利用するようになった。」

現在、高齢者分野では、平成十二年四月に介護保険制度が始まり、その後、法改正が何度か行われました。また、障害者の分野では障害者自立支援法が平成十八年四月から施行されました。このような激動する社会福祉情勢のなかで、まだまだ解決すべき課題が山積されております。今回も地域の人々の幸せを守るための大規模民間法人の役割や、進むべき道などが話し合われ、実りあるサミットとなることを期待しています。

(藤田・太田)

山本左近

「山本左近 自身を語る」

「夢は見るものではなく、実現させるもの」という言葉どおり夢を実現してきた左近選手。スペインでの生活や今後の目標について、先月号に引き続き左近選手の生の声をお届けする。

普段はレーサーとして大変多忙な生活を送っている左近選手ですが、そんな左近選手のプライベートな生活をお聞きしたいと思います。

—スペインでの生活。休みの日はどのように過ごしていますか？

普段はレースで緊張感の毎日なので、緊張感を保つためにもプライベートは大切にしています。街を散歩したり、公園や海でのんびりしたりするのが好きですね。オンとオフをはっきりさせてます。

トレーニングやレースのスケジュールによりますが午前中に汗を流して午後は休もう、などと割と流動的ですね。1週間の組立は自分で自分のスタイルをコントロールしないといけないです。若いうちは難しかったが、今になるとだいぶ自分で自分のスタイルが確立できるようになったかなって感じですね。

—現在はスペインにお住まいですが、その他の国にも滞在されていたそうですが？

はい、二十才からドイツに二年間、そしてイギリスに二年間、そしてスペインで三年目になります。七年も外国で生活していることになりました。

—外国語はいかがですか？

英語が中心でスペイン語、イタリア語、フランス語、ドイツ語です。イタリア語が一番好きですね。バルセロナはスペイン人だけでなく色々な国から人が集まって来ている街なので、英語での会話は全く問題ないですね。バルセロナはだいぶ都会ですが、田舎に行くとスペイン語だけしか通じなくなります。今年が割りとヨーロッパにいる時間が長いので、スペイン語の勉強を本格的に始めました。



「夢は見るものではなく、実現させるもの」という言葉、そのとおりに着実に夢を実現してきたと思うのですが、現在の目標はなんですか？

自分がいま、何を目指しているのか、具体的に考えています。やっぱり、F1という一つの目標は達成し、今は違うレースに出ています。ここから自分が出たいですが、ここから自分が何をすべきか考えています。モータースポーツの楽しさを皆さんに知っていただく。一般の方との交流する時間を持ち、車の安全運転について、など、伝えていきたいです。今は、大きな目標は、定まっていらないかんじです。これからゆっくり見きわめていきたいです。

最後に、ファンに向けてひとこと、お願いします。

そうですね。モータースポーツは危険と隣り合わせのスポーツです。日常一般道で車に乗る皆さんには安全運転を心がけて

欲しいです。交通事故のない社会を皆で作って欲しいですね。

実際にお会いして、左近選手が世界で活躍している秘訣は、毎日のトレーニングを欠かさないことなど自己管理を徹底して生活スタイルを崩さないことであると感じました。

また、レースでは体力以上にメンタルを強く保つ必要があり、日ごろの生活の中で両面をバランスよく鍛え努力している様子は同年代の人へ激励をしているように思いました。

今後も左近選手の動向や活躍をお伝えしていきます。ご期待ください。

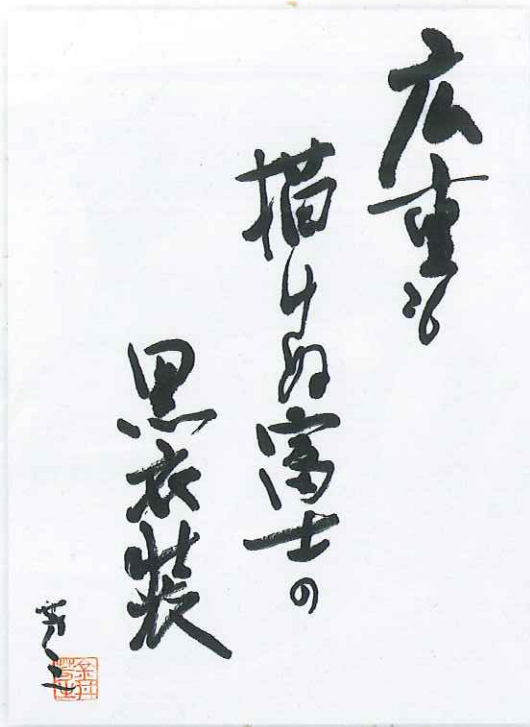
Sakon's News



○Next GT Masters Race

第7戦 • 10/18 Oschersleben

(金森)



て、恰も別の山のように見える。今年もまた初冠雪が楽しみだ。

俳句浪漫

直筆の書で 季節を彩る

ジュゲム施設長・東京大学客員研究員
金井 芳之



広重も

描けぬ富士の

黒衣装

もう六年近く新幹線で東京と豊橋間を週一往復しているが、雨や曇りでない限り富士山は気になる。富士の風貌は遠景・近景合わせるとざっと半時間は目を楽しませてくれる。しかし何といても富士には冠雪がないと様にならない。峰の雪様は広重の浮世絵に瀕回に登場するが、描かれた時期は二月と十一月が多い。雪無し富士は殆どない。広重にとっても雪無し富士には興味が無かったようである。江戸とは遙か時代を隔てるものの、九月から十月初めの雪無し富士は、特に夕刻には黒々として、恰も別の山のように見える。今年もまた初冠雪が楽しみだ。

さわらび大学公開講座案内

☆参加費無料でどなたでも受講できます

- 10月 8日(木) 私のボランティア活動
講師 ▶ 豊橋善意銀行ボランティア連絡協議会 会長 中野 米子
- 10月22日(木) 感染症について (インフルエンザなど)
講師 ▶ 福祉村病院 院長 小橋 修
- 11月のさわらび大学は12日(木)・26日(木)の2回を予定しています。
但しインフルエンザなど感染症の流行により中止する場合があります。
尚、12月から3月はさわらび大学を休講させていただきます。

さわらび大学の開催

時間 ○ 第2・4木曜日、午後3時～4時
会場 ○ 福祉村病院会議室

尚、都合により日程及び講座が変更となることもございますのでご了承ください。

講義内容へのご意見・ご要望がございましたら、下記までお申し付けください。

◎お問い合わせ・受講申し込み

軽費老人ホーム若菜荘

☎ (0532)48-1138 FAX (0532)48-2365



第四十七番八坂寺から第四十八番清滝山西林寺まで四キロ、徒歩なら一時間、車で十五分。西林寺のまわりはのどかな田園風景が広がっていた。山の中から平地に出てきた印象だ。寺の前には小川が流れ太鼓橋がかかっている。頭に鮮やかな黄色いタオルをまいた二十歳すぎの歩き遍路装束の男性が金剛杖を持ち上げて橋を渡っていた。

「あのおにいさんね、前にどこかで会ったことないかな」と中二の娘。「前の寺でもいたよ」と小四の娘。「そうじゃなくて、もっとずっと前にだよ」「会ったことないよ」と娘たち。「おねえちゃんね、ずっと以前に会ったことがあるかもね」と母。私の長女が三歳の時に私の父は死んだが、次女はまだ生まれていなかった。その時はなにげない普通の会話に思えた。

太鼓橋を渡ると下りの石段があり、石段を下り



て参道を行くと仁王門がある。この寺は道路よりも低いところに境内や堂宇がある。遍路たちは奈落の底に落ちるような感覚になり、西林寺は伊予の関所寺とも言われている。本尊の十一面観音は秘仏で後ろ向きに立っているということなので、本堂の裏へ回ってお参りをした。境内には、ところどころに手入れの行き届いた松の木があり、やわらかな空気がゆっくりと流れていた。

西林寺の南西に「杖の淵公園」がある。名水百選に選ばれた「杖の淵」という水が湧き出ている。弘法大師が水不足に悩む村民を救うために杖をつけて清水を湧き出させたという伝説がある。豊かな水の恵みは弘法大師のおかげだという。

池の底まで澄み通す清水をぼんやりと眺めていた時、十年前に死んだ父親のことを思い出した。「死ぬまでに一度でいいから、家族みんなとよく言っていた。「親孝行したいときには親はなし」という諺が浮かんだ。父親がみなに気付かれないように若い頃の姿となり、我々と一緒に四国巡礼をしていたことに気づいていた母、気づきそうになった中二の娘、けれども私は全く気がつかなかった。



Vol. 21
relay column
さわらび会
のわ
若菜荘 介護士
金子 和香子



ヨルダンの砂漠を訪れたとき、赤い

岩と赤い砂、奇岩の間を4WD (実際は軽トラの荷台にベンチ) の車で案内してくれた方のお宅を訪問させて頂いた。奥さんが甘い紅茶をご馳走してくれて、子供達も手におもちゃを持って笑顔で迎えてくれた。以前は、ベドウィン生活をしていて、国の政策で定住生活をする事になり、砂漠観光の仕事をしていると言われる。3LDKの一軒家で電気、ガス、水道完備はもちろんご主人は携帯電話を持っていて何度も電話が入ったり、かけたりにしている。夫婦と子供4人での生活をしているが、夫婦は以前のベドウィン生活に戻れるなら戻りたいと、先祖から受け継がれた生活の子供達にも教えたいと話す。ラクダを中心とした遊牧生活、私には想像が出来ないが遊牧民の血がそいつた生活を求めるのだろうか? 住めば都と言いが、やはり住み慣れた場所での自分の生活を守りたい、誰もが思うことであると思う。私も自分のライフスタイルを大切に自分らしく生きていきたいと思っています。

次回は、ジユゲム看護師長 高瀬清美さんです。

- 8月18日 ◆福祉村病院・シユゲム
福祉村合同慰霊祭
豊川市および豊川市民病院主催の認知症に関する講演会(豊川市文化会館)にて伊対弘之副院長が「認知症の基本的理解と認知症の方へ接する際の心がまえ」について講演
橋詰先生によるOPC(理事長出席)豊橋市社会福祉協議会主催の認知症座談会(あいトピア)にて伊対弘之副院長が助言
福祉村保育園利用者会議(理事長、院長出席)
感染対策委員会
フランスベイト(株)主催のケアマネーシヤアの研修会(名古屋国際センター)にて伊対弘之副院長が「認知症のケアについて」講演
医療安全委員会
さわらび大学「介護保険と地域包括支援センターの役割」さわらび包括支援センター
28日 ◆名古屋市内認知症介護実践研修(吹上ホール)にて伊対弘之副院長が「認知症の医学的理解」について講義
早稲川集会所(理事長出席)
4日 ◆全国老人福祉施設協会主催の平成21年度看護職員研修会(東京都九段公園)にて新井修院長が「V・感染症対策」について講義
名古屋市内瑞穂保健所主催の認知症予防についての講演会(瑞穂区役所)にて伊対弘之副院長が「今からでも間に合う!認知症の予防」について講演
6日 ◆日総研主催の公開セミナー(福岡センタービル)にて伊対弘之副院長が「食べない、入浴しない、眠らないへのアプローチとケア」について講義
8日 ◆施設長会議(シユゲム)に理事長出席
新城市主催の認知症座談会(新城市役所鳳来支所)にて伊対弘之副院長が助言
9日 ◆シユゲム幹部会
シユゲム家族会
10日 ◆さわらび大学「口腔ケア」医療法人大成会広小路歯科理事長大賀将志先生
病院幹部会(理事長出席)
11日 ◆豊橋市社会福祉協議会主催の認知症座談会(つじヶ丘地域福祉センター)にて伊対弘之副院長が助言

- 8月18日 ◆さわらび荘
認知症サポーター養成講座(松下 松葉地区公民館)
21日 ◆職種別ケア会議(勝山 つじヶ丘)
- 8月17日 ◆第二さわらび荘・カサデローザ
県社福祉社教育会(長坂 名古屋)
ユニットリーター研修(井上 名古屋)
県社協簿記会計研修(金森 名古屋)
21日 ◆認定審査員研修(長坂 名古屋)
23日 ◆松下社会福祉事業福利厚生基金運営委員会(山本施設長 名古屋)
27日 ◆県社協簿記会計研修(金森 名古屋)
28日 ◆ユニットリーター研修施設実習(井上 名古屋)
9月1日 ◆愛老協施設長会議(山本施設長、奈良施設長 名古屋)
2日 ◆特別養護老人ホームやすらぎ施設視察見学
4日 ◆老人ホーム三河部軽費ケアハウス施設長会議(奈良施設長 刈谷)
9日 ◆認知症ケア現場に活かすパーソンセンターケア(長坂、東郡、松原、西崎、林、駅前文化ホール)
10日 ◆県社協第二回中期経営計画策定委員会(山本施設長 名古屋)
15日 ◆全老協全国大会実行委員会(山本施設長 東京)
15日 ◆認定審査会(長坂 市役所)
県社協簿記会計研修(金森 名古屋)
県社協簿記会計計研修(金森 名古屋)
- 8月18日 ◆珠藻荘
五並中体験学習(2名)
自立支援協議会相談支援専門部会(施設長・松井伸 市役所)
21日 ◆五並中体験学習(2名)
- 9月1日 ◆あかね荘
支援会議
五並中体験学習(2名)
いさきフェスタ2009企画委員会(村越 あいトピア)
- 8月19日 ◆あかね荘
20日 ◆防災訓練
21日 ◆誕生会
22日 ◆語りへの会
23日 ◆いさきフェスタ(語りへの発表表)公正採用選考・人権啓発研修会(矢田 ライフポートとよはし)
- 9月2日 ◆地震避難訓練
炊き出し訓練
感染症対策会議
4日 ◆自閉症セミナー(村越 愛知県社会福祉会館)
8日 ◆相談支援従事者初任者研修(朝倉 貞綱 名古屋)
10日 ◆指定障害福祉サービス事業者等集団指導(中陳・矢田 名古屋)
- 8月22日 ◆明白香
家族会・クラブ活動日
いさきフェスタにてさわらび太鼓出演(販売)
25日 ◆東三セブ療育研修(施設長 山本幹)
28日 ◆職員勉強会
看護師会議(加藤)
9月2日 ◆福祉協会総会(施設長 名古屋)
4日 ◆防災訓練(炊き出し訓練)
8日 ◆相談支援従事者研修(藤井 名古屋)
10日 ◆自治会・工賃日
11日 ◆県集団指導(施設長 鈴木 名古屋)
12日 ◆E・I・エロ・レシート贈呈式(施設長 伊藤 事務所)
14日 ◆みかわ市民生協にて販売
15日 ◆豊橋東高校文化祭にて販売
15日 ◆蒲郡東高校文化祭にて販売
- 8月17日 ◆しろがね
TFM合唱団
31日 ◆TFM合唱団
9月9日 ◆さなえおやつ奉仕
14日 ◆TFM合唱団
- ◆各施設共通
8月18日 ◆合同慰霊祭
20日 ◆栄養士会議
9月8日 ◆施設長会議
障害者担当会議

- 8月18日 ◆さわらび荘
認知症サポーター養成講座(松下 松葉地区公民館)
21日 ◆職種別ケア会議(勝山 つじヶ丘)
- 8月17日 ◆第二さわらび荘・カサデローザ
県社福祉社教育会(長坂 名古屋)
ユニットリーター研修(井上 名古屋)
県社協簿記会計研修(金森 名古屋)
21日 ◆認定審査員研修(長坂 名古屋)
23日 ◆松下社会福祉事業福利厚生基金運営委員会(山本施設長 名古屋)
27日 ◆県社協簿記会計研修(金森 名古屋)
28日 ◆ユニットリーター研修施設実習(井上 名古屋)
9月1日 ◆愛老協施設長会議(山本施設長、奈良施設長 名古屋)
2日 ◆特別養護老人ホームやすらぎ施設視察見学
4日 ◆老人ホーム三河部軽費ケアハウス施設長会議(奈良施設長 刈谷)
9日 ◆認知症ケア現場に活かすパーソンセンターケア(長坂、東郡、松原、西崎、林、駅前文化ホール)
10日 ◆県社協第二回中期経営計画策定委員会(山本施設長 名古屋)
15日 ◆全老協全国大会実行委員会(山本施設長 東京)
15日 ◆認定審査会(長坂 市役所)
県社協簿記会計研修(金森 名古屋)
県社協簿記会計計研修(金森 名古屋)
- 8月18日 ◆珠藻荘
五並中体験学習(2名)
自立支援協議会相談支援専門部会(施設長・松井伸 市役所)
21日 ◆五並中体験学習(2名)
- 9月1日 ◆あかね荘
支援会議
五並中体験学習(2名)
いさきフェスタ2009企画委員会(村越 あいトピア)
- 8月19日 ◆あかね荘
20日 ◆防災訓練
21日 ◆誕生会
22日 ◆語りへの会
23日 ◆いさきフェスタ(語りへの発表表)公正採用選考・人権啓発研修会(矢田 ライフポートとよはし)
- 9月2日 ◆地震避難訓練
炊き出し訓練
感染症対策会議
4日 ◆自閉症セミナー(村越 愛知県社会福祉会館)
8日 ◆相談支援従事者初任者研修(朝倉 貞綱 名古屋)
10日 ◆指定障害福祉サービス事業者等集団指導(中陳・矢田 名古屋)
- 8月22日 ◆明白香
家族会・クラブ活動日
いさきフェスタにてさわらび太鼓出演(販売)
25日 ◆東三セブ療育研修(施設長 山本幹)
28日 ◆職員勉強会
看護師会議(加藤)
9月2日 ◆福祉協会総会(施設長 名古屋)
4日 ◆防災訓練(炊き出し訓練)
8日 ◆相談支援従事者研修(藤井 名古屋)
10日 ◆自治会・工賃日
11日 ◆県集団指導(施設長 鈴木 名古屋)
12日 ◆E・I・エロ・レシート贈呈式(施設長 伊藤 事務所)
14日 ◆みかわ市民生協にて販売
15日 ◆豊橋東高校文化祭にて販売
15日 ◆蒲郡東高校文化祭にて販売
- 8月17日 ◆しろがね
TFM合唱団
31日 ◆TFM合唱団
9月9日 ◆さなえおやつ奉仕
14日 ◆TFM合唱団
- ◆各施設共通
8月18日 ◆合同慰霊祭
20日 ◆栄養士会議
9月8日 ◆施設長会議
障害者担当会議

- 8月18日 ◆さわらび荘
認知症サポーター養成講座(松下 松葉地区公民館)
21日 ◆職種別ケア会議(勝山 つじヶ丘)
- 8月17日 ◆第二さわらび荘・カサデローザ
県社福祉社教育会(長坂 名古屋)
ユニットリーター研修(井上 名古屋)
県社協簿記会計研修(金森 名古屋)
21日 ◆認定審査員研修(長坂 名古屋)
23日 ◆松下社会福祉事業福利厚生基金運営委員会(山本施設長 名古屋)
27日 ◆県社協簿記会計研修(金森 名古屋)
28日 ◆ユニットリーター研修施設実習(井上 名古屋)
9月1日 ◆愛老協施設長会議(山本施設長、奈良施設長 名古屋)
2日 ◆特別養護老人ホームやすらぎ施設視察見学
4日 ◆老人ホーム三河部軽費ケアハウス施設長会議(奈良施設長 刈谷)
9日 ◆認知症ケア現場に活かすパーソンセンターケア(長坂、東郡、松原、西崎、林、駅前文化ホール)
10日 ◆県社協第二回中期経営計画策定委員会(山本施設長 名古屋)
15日 ◆全老協全国大会実行委員会(山本施設長 東京)
15日 ◆認定審査会(長坂 市役所)
県社協簿記会計研修(金森 名古屋)
県社協簿記会計計研修(金森 名古屋)
- 8月18日 ◆珠藻荘
五並中体験学習(2名)
自立支援協議会相談支援専門部会(施設長・松井伸 市役所)
21日 ◆五並中体験学習(2名)
- 9月1日 ◆あかね荘
支援会議
五並中体験学習(2名)
いさきフェスタ2009企画委員会(村越 あいトピア)
- 8月19日 ◆あかね荘
20日 ◆防災訓練
21日 ◆誕生会
22日 ◆語りへの会
23日 ◆いさきフェスタ(語りへの発表表)公正採用選考・人権啓発研修会(矢田 ライフポートとよはし)
- 9月2日 ◆地震避難訓練
炊き出し訓練
感染症対策会議
4日 ◆自閉症セミナー(村越 愛知県社会福祉会館)
8日 ◆相談支援従事者初任者研修(朝倉 貞綱 名古屋)
10日 ◆指定障害福祉サービス事業者等集団指導(中陳・矢田 名古屋)
- 8月22日 ◆明白香
家族会・クラブ活動日
いさきフェスタにてさわらび太鼓出演(販売)
25日 ◆東三セブ療育研修(施設長 山本幹)
28日 ◆職員勉強会
看護師会議(加藤)
9月2日 ◆福祉協会総会(施設長 名古屋)
4日 ◆防災訓練(炊き出し訓練)
8日 ◆相談支援従事者研修(藤井 名古屋)
10日 ◆自治会・工賃日
11日 ◆県集団指導(施設長 鈴木 名古屋)
12日 ◆E・I・エロ・レシート贈呈式(施設長 伊藤 事務所)
14日 ◆みかわ市民生協にて販売
15日 ◆豊橋東高校文化祭にて販売
15日 ◆蒲郡東高校文化祭にて販売
- 8月17日 ◆しろがね
TFM合唱団
31日 ◆TFM合唱団
9月9日 ◆さなえおやつ奉仕
14日 ◆TFM合唱団
- ◆各施設共通
8月18日 ◆合同慰霊祭
20日 ◆栄養士会議
9月8日 ◆施設長会議
障害者担当会議

さわらび会後援会寄附ご芳名

平成21年8月15日～9月14日

市内牧野町90	小松ウメ氏	5,000円
市内野依町字西物草12	家具の街ヨコモブランド	10,000円
市内小池町36-1	共和印刷(株)	5,000円
市内高塚町神田68	田京敏明氏	5,000円
市内中岩田三丁目11-3	白井良治氏	1,000円
市内弥生町字西豊和9-9	林 昭氏	10,000円
市内萱町30	(株)中野新松商店	10,000円
市内瓜郷町前川50-1	鈴木弘生氏	10,000円
市内間屋町15-5	(株)スズケン	10,000円
市内東田町154	資竹田商店	10,000円
市内東脇三丁目1-17	森田由利子氏	10,000円
市内白河町100	中部ガス(株)	10,000円
市内神野埠頭町2	神野臨海(株)	10,000円
市内野依町山中19-14	福祉村病院職員有志	3,000円
市内東新町314	(株)日医工新和	10,000円
新城市南畑74	光田屋(株)	10,000円
	匿名希望氏	10,000円
	匿名希望氏	10,000円
	匿名希望氏	10,000円
	匿名希望氏	20,000円

その他匿名希望多数の方よりご寄附頂きました。

計 179,000円

現在までにご寄附いただきました金額は
827,542,308円

ご寄付は、さわらび会の病院・施設なら、どこでも受け付けております。皆様の御協力をお願い致します。

みんなの力でみんなの幸せ

社会福祉法人

さわらび会後援会からの
お願い

さわらび会後援会では、広く社会の善意のある方々に後援会員になっていただき、そのあたたかい浄財をもって福祉村の建設並びに運営していくよう支援しております。

皆様方の、ご入会を心からお願い申し上げます。

後援会会長 神野信郎

●お問い合わせは 珠藻荘 ☎(0532)47-1050まで

＊お礼コーナー ありがとうございました＊

※印は豊橋善意銀行を通して

▼円通寺様 米寄贈※ (あかね荘) ▼荻野陽三様 米寄贈 (珠藻荘)

インド福祉村協会寄附ご芳名

平成21年8月11日～9月10日

広島県広島市西区高須 2-6-4-101	佐伯靖子氏	3,000円
愛媛県松山市南梅本町511-1	大澤ツヤ子氏	1,000円
名古屋市中区新栄1-7-12	東海労働金庫	3,200円
名古屋市昭和区山花町50	医療法人 生寿会 理事長 酒井宏氏	50,000円
名古屋市千種区内山2-15-7	大賀 泉氏	3,000円

計 60,200円

募金方法(インド福祉村)

■振込先 郵便局 ゆうちょ銀行・振替口座

口座番号00830-2-65008 加入者名 インド福祉村協会

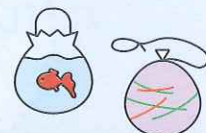
■連絡先 軽費老人ホーム若菜荘 ☎0532-48-1138まで

第二さわらび荘 夏祭り

8月12日、第二さわらび荘にて毎年恒例となった家族会主催の夏祭りが開催されました。今年も64家族、延べ156名の大勢のご家族に参加いただきました。

お年寄りは浴衣に着替え、ご家族と一緒に金魚釣りやヨーヨー釣りを楽しんだり、お酒や美味しい食べ物を味わって縁日の気分を存分に感じることができたと思います。お年寄りの笑顔をいっぱいみることができ、私達職員にとっても大変嬉しい一日となりました。

家族会の皆様、本当にありがとうございました。(林)



●真剣な表情で金魚釣りをしています。

「四角の世界」

谷 葉月
(小6)



学童保育にかよう
子どもたちの

作品展

「しんかいぎよ」

川端あゆみ
(小4)



編集後記

「認知症」これからますます高齢化の進む日本においては重要なキーワードです。「認知症」と言う言葉は知っていても具体的にどのような症状なのかわからない。また「認知症」の人にどう接したらよいかわからない。そんな人が以外に多いのではないのでしょうか。

今月号の医学講話では山本孝之理事長がその「認知症」の事を書いて頂きました。「認知症」の方への介護方法また悪化予防法など、ご家庭ですぐ出来ることをより具体的にわかりやすく解説して頂いております。この医学講話を参考にして頂いたり、また認知症サポーター養成研修に参加して頂いたりして出来るだけ多くの方が「認知症」に対する正しい理解を持って頂き、認知症の方も介護する方も地域の中で幸せな生活をいつまでも送れる、そんな社会作りに役立つ「さわらび誌作り」をこれからも目指してまいります。
(江川)

【表紙作品】ふくろうの親子(あかね荘陶芸教室作品)

充実した医療と福祉
みんなの力でみんなの幸せを

社会福祉法人 さわらび会 理事長 山本 孝之
医療法人

- 特別養護老人ホーム さわらび荘
☎(0532) 54-3501
法人本部 豊橋市浪ノ上町7-2
- 特別養護老人ホーム 第二さわらび荘
- ケアハウス カサ デ ローザ
☎(0532) 37-1209
- 軽費老人ホーム 若菜荘
☎(0532) 48-1138
- 障害者支援施設 珠藻荘
☎(0532) 47-1050
- 障害者支援施設 あかね荘
☎(0532) 48-2825
- 福祉村病院
☎(0532) 46-7511
- グループホーム白珠
☎(0532) 66-0082
- 障害福祉サービス事業所 明日香
☎(0532) 46-6579
- 福祉村障害福祉サービス事業所 しろがね
☎(0532) 48-1032
- 福祉コンビニ(東雲町)
☎(0532) 69-5666
- 第二福祉コンビニ弥生
☎(0532) 38-9090
- さわらび会障害者居宅介護事業所 田原
☎(0531) 24-0722
- 福祉村老人保健施設 ジュゲム
☎(0532) 46-7501
- 田原市障害者生活支援センター(市委託)
☎(0531) 45-3828

さわらび

2009年10月1日発行 早蕨 第438号 毎月1日発行
(昭和62年2月21日第三種郵便物認可)
編集責任者 ● 江川和郎 印刷 ● 共和印刷(株) 定価 ● 100円